

○第6回和光市子ども・子育て支援会議施設認可部会における意見と回答

【意見への回答】

1. 1歳児定員が2歳児定員より多いことについて、予想される動向どおりにならない場合、フォロー体制は用意されているのか。

(回答)

2歳児において、従業員の居住地にある保育園への転園児童が見込みより少なかった場合であっても、在籍していた児童を退園させることはなく、面積基準及び職員配置基準を満たす範囲内での受け入れを行う。

1歳児45名がそのまま進級した場合であっても、面積基準及び職員配置基準は適合である。

2. 多人数での保育となるが、少人数での保育が可能な施設デザインがされているか。

(回答)

パーテーション等を活用し、各年齢クラスごとに少人数での保育が可能となるような施設デザインとなっている。

0歳児は、ほふく室をふくめた2部屋、1歳児は3部屋、2歳児は4部屋に分かれてのきめ細やかな保育が可能。